

科目名		授業形態	担当教員名	
医用機器安全管理学演習		演習	阪本 壮志・飛来 直道	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
60 時間 (1 単位)		30 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
まず電氣的安全に関して、復習を行う。座学で学んだ知識を実際に漏れ電流測定ボックスの作製・校正・測定・解析を通して、医療機器の電氣的安全について理解させる。				
授業の到達目標				
演習を通して、各種医療機器の電氣的安全保守点検方法を修得し、安全管理について理解を深める。				
授業計画				
回	内容			
1	前半オリエンテーション	16	後半オリエンテーション	
2	コンセント保持力試験(座学)	17	漏れ電流測定BOX(製図)	
3	コンセント保持力試験(実技)	18		
4		19	漏れ電流測定BOX(穴あけ・パーツはめ込み)	
5	コンセント保持力試験の解析	20		
6		21	漏れ電流測定BOX(はんだによる結線)	
7	輸液ポンプの点検(座学)	22		
8	輸液ポンプの点検(実技)	23	漏れ電流測定BOX(キャリブレーション・補正)	
9		24		
10	輸液ポンプの解析	25	漏れ電流測定BOX(手順書作成)	
11		26	漏れ電流測定 医用治療機器・生体機能代行装置 を対象に測定する	
12	27			
13	漏れ電流測定方法	28		
14	保護接地線抵抗の測定方法	29		
15	DMM、はんだ、はんだこての使用方法	30	実技試験	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	100%	実技試験を評価(60%)する。解析はPowerPointを使用したプレゼンを評価(40%)する。		
自由記載		全ての演習に参加し、全てのレポートを提出していることが成績評価のための前提となる。		
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
臨床工学講座 医用機器安全管理学	施設協議会		医歯薬出版	
MEの基礎知識と安全管理	日本生体医工学会ME		南江堂	
ME機器保守管理マニュアル	渡辺 敏・小野哲章・峰島三千男		南江堂	
自由記載				
備考				